

前 号 目 次

モーツァルト概観(続).....	石倉小三郎
ミュージック・コンクレートに関する一考察.....	酒井 諄
現代詩成立の新運動.....	山本捨三
近世に於ける階級制度と農民の生活.....	二十二 鐵 玄
丹羽文雄と親鸞(下).....	中野 恵海
——小説「青表」を中心として——	
服装史より.....	山本登美子
——流行の変遷を裏付けるもの——	

卷頭之詞

学長 今小路 覚 瑞

本年は相愛学園が難波の地津村に創設されて、満七十年の星霜を経た記念すべき歳に当つてゐる。又、学園の多年の念願であつた女子大学の設置も、先づ音楽学部として、四月一日より開講することを得て、その念願を果すことを得た。加之学園の復興も累年進捗を遂げ、三月末日には礼拝堂を兼ねた講堂を含む南本館の竣工を見て、茲にこの重なる喜びを受け、学園としては永く記念すべき重要な歳を迎へることが出来た。

依て、これを記念するために、ここに相愛研究論集の記念号を特集して、発刊し、大方諸賢の御高批を希ふこととした。